

令和3年度 III類卒業研究 B・輪講 B の審査について

令和3年12月21日 III類長

1. 提出物について

2月1日(火)16時(所属研究室のプログラムが別に定める場合がある)までに以下のものを提出すること。提出物に記載する論文題目に相違がないように十分注意すること。

- (1)卒業論文(媒体:紙に印刷したもの1部,提出先:指導教員)様式は別紙参照.
- (2)卒業研究審査願(媒体:Excelファイル,提出先:指導教員)テンプレートファイルあり.
提出日,入学年,学籍番号,氏名,指導教員名,卒業研究題目を入力すること.類長印と指導教員印は不要(←教務課へ要確認の必要あり).
- (3)卒業研究発表会用要旨(媒体:PDFファイル,提出先:所属研究室のプログラムが指定)テンプレートファイルあり.(P1研究室所属の学生は様式A-1,P2~P5研究室所属の学生は様式A-2)
- (4)輪講学習リスト(媒体:PDFファイル,提出先;所属研究室のプログラムが指定)テンプレートファイルあり(様式B).輪講や卒業研究の中で,読んで勉強した論文・書籍(過去の卒論や修論も可)の一覧をA4紙1ページにまとめる.審査において,輪講Bの単位認定根拠となる.

- ・指導教員は,研究室卒研生全員の「卒業研究審査願」と「卒業研究題目一覧」(Excelテンプレートファイルあり)をIII類事務に送付する.

2. 卒業論文のチェック

提出された卒業論文については,指導教員が押印した後に,プログラム内にてチェックを行う.チェック後,卒業論文はチェックシートとともに指導教員を経由して卒研生(執筆者)に返却する.

3. 卒業研究発表会

2月16日(水)までに所属研究室のプログラム毎に1日で実施.自分の発表会場の発表を全て聴講することが望ましい.

卒業研究発表会を対面,遠隔のいずれかで実施するかは各プログラムの判断に委ねる.

4. 評価

卒業論文や卒研発表会の内容が不十分の場合には,卒研再発表などを求められる場合がある.

5. 卒業研究 B・輪講 B の担当教員

機械システムプログラム	松村先生:matsu@mce.uec.ac.jp
電子工学プログラム	志賀先生:shiga@ee.uec.ac.jp, 水柿先生:y.mizugaki@uec.ac.jp
光工学プログラム	大饗先生:ohae-c@uec.ac.jp
物理工学プログラム	伏屋先生:fuseya@uec.ac.jp
化学生命工学プログラム	平野先生:thirano@uec.ac.jp:

卒業論文の作成と卒業研究発表会の注意事項（別紙）

〔卒業論文〕

卒業論文は、卒業研究発表会で回覧し内容と形式を下記に沿って審査する。提出日以降の変更、卒業研究発表会でのコメントを考慮した修正などを行い、指導教員が確認を行う。その後各研究室で保管し後輩が随時参照する。

1. 用紙

縦 A4 版用紙で横書きとする。用紙の余白は左側を 3cm 以上、その他を 1cm 以上とり、右肩にページを記入する。

2. ファイル

ファイルの表紙および背表紙は図 1 のようにする。左綴じ。

3. 内容

論文執筆に際し、以下を参考にすること。

- ・論文構成：表紙，目次，緒言，本文，結論，謝辞，参考文献，
- ・付録は章としない
- ・図・表にはそれぞれ章通し番号と見出しをつける。

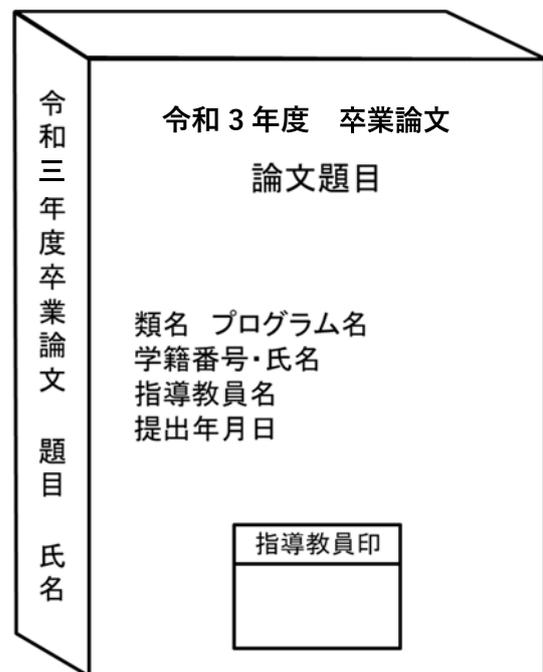


図1 ファイルの体裁

〔卒業研究発表会用要旨〕

要旨を各自作成し、各プログラムの定める指示に従って提出すること。

（別紙フォーマットあり。P1 研究室所属の学生は様式 A-1, P2~P5 研究室所属の学生は様式 A-2）

〔卒業研究発表会〕

卒業研究発表会では、次の事項を考慮して卒業研究の単位認定が審査される。尚、提出卒業論文の審査も併せて行う。

1. 要旨や卒業論文はわかりやすく記されているか
2. 発表の資料は見やすくできているか
3. 内容を理解しているか
4. 自分で行った部分はどこか
5. 発表時間の制限内にまとめたか
6. 発表態度
7. 質疑への応答